

植物エッセイ

大平 仁一*

秋、山の葉はきれいだ

秋の山へ行くのが楽しみです。ガマズミの赤い実は、それはそれは美しいし、葉もきれいだ。その他の葉や落ち葉も赤や黄にきれいだ。また、サワフタギの青い実もきれいだった。

ヘクソカズラの実もしっとり輝き、すごくきれいだった。黄土色というより金色に近く、晩秋の日に輝き、私にはまぶしかった。

時に栃の実やブナの実が落ちていて、私はこれらの実を見つけるときに一番秋を感じる。

秋の林の中で、色をつけたきれいな植物に、私は心を打たれた。秋の夕日は、それは美しくあります。

神様が会わせてくれたキンラン

高社山のふもとにお宮があり、周りは杉の木で見通しが良く、たくさんの野草があった。草が足にまとわりつき歩きにくかったが、少し歩いてみた。

すると、その中にキンランの黄色い花が咲いているのが目に留まった。きれいなので写真に写した。

ギンランより美しかった。ギンランは北竜湖周辺にあったのを覚えていた。キンランははじめて見る花なのでうれしかった。

すばらしいこの花には、神様が会わせてくれたのだと思う。今日ほど幸せな日はなかった。(写真2)

キスゲの群生にあう

信濃町の温泉に入ろうと、意気揚々と母ちゃんと出かけた。山裾の道を通り、露天風呂に入った。遠くの山のふもとに滝があり、すばらしかった。

妙高山を背に車を走らせると、シラネセンキュウやシシウドが咲いていた。少し行くと、母ちゃんがお昼にしようと言うので、車を道の横に止めた。そこは、スキー場のゲレンデだった。そこには、キスゲがたくさん咲いていた。花は横から少し上向きで、かわいかった。キスゲを見るのは初めてだった。

お昼のおにぎりはみそ味で美味しかった。お昼を



写真1 ヒトリシズカ

食べ食べみるキスゲはすごくきれいで、これほど私の心を引きつけた花はない。今日の日よ、ありがとう。

ヒトリシズカ

飯山の山や里にヒトリシズカが咲き、にぎやかになっている。主に里の畑や山すそに多く、人々に温かさを与えている。

いつも散歩している山すその道で、私はわざと枯れ葉の中をガサゴソと音を立てて歩く。そんな時間が楽しみです。その山すそにも多くのヒトリシズカが咲いていて、今は春、すばらしい春ですよ、と言っている。

これは私が元気になる栄養剤です。

私達のいる飯山は良いところです。ここの林は今花盛りです。フタリシズカも咲きます。

私の好きなノビルの球も大きくなり、妻に油炒めにしてもらって食べるのが大好きです。すばらしく美味しいのです。(写真1)

タケシマランは森の中

落葉樹林にはいると、木もれ日が私を射してくる。でも落ち葉の林は歩きやすい。見上げると、空をす

* 大平 仁一 〒389-2322 飯山市瑞穂 1166-9



写真2 キンラン



写真4 山菜のイラクサ



写真5 紫陽花の咲く寺



写真3 タケシマラン



写真6 奥山の紫陽花

かして青葉が光っていた。

雨飾山は遠かった。

まだ先がある、ここから少し登りがきつくなっていた。下から登山者が来て、「カメラがないのだが、見なかったか」と言っていた。キョロキョロあたりを見ながら妻と登る。

すると、タケシマランがあり、すごくたまげた。うれしい驚きであった。また、ここにはトチバニンジンが群生していて、すごいと思う。

小谷温泉の露天風呂に入った。ブナの林にかこまれて、すごく良かった。鎌池に写る山々はすごくきれいだった。このあたりはブナの大木が多く育っている。

もう一回小谷温泉に入りたかったが、帰路についた。今日であったタケシマランは、あまり多くはなかった。ブナの幹にキツツキの穴があり、鳥が出入りしていた。楽しい一日で、この地の自然をうれしく思った。(写真3)

イラクサの若芽は地元の山菜

春5月、地元の南瑞地区の人達はイラクサや山菜採りをはじめる。でも、イラクサはトゲがあって痛いので、皆さん手袋をはめる。根元が少し赤いものや、背が高いものがあり、やわらかかった。漬け物や煮物がおいしかった。

いつも万仏山へ行く道沿いの小さな沢に沿って探して歩いた。2時間もすれば、袋いっぱいになった。道沿いには千手観音が100 mおきに立っている。そこには、村人の名前が書かれていた。こんな重い石をどうやって持ち上げたのか、私には分からなかった。もう少し上に行くと、私の大好きな大日如来様があった。私はうれしくて一礼した。(写真4)

紫陽花の咲く寺にて

この寺は、太田地区にある有名な寺で、私も3回ほど行った。すぐ近くにはスキー場がある。

6月を待っていた。50段ある寺の石段の周りに紫陽花が多く、色もいろいろできれいだった。また、石の佛像もすばらしい。

この寺を紫陽花寺と呼び飯山市の人達はよく見学に来る。色々な紫陽花が咲き、色も沢山あり、近くに大きな杉の木もあり、私達を楽しませてくれる。この寺は見たところ古く少しみすばらしい。でも、小鳥の声はすばらしく良く聞こえていた。見て、聞

いて、心豊かにしてください。(写真5)

ミネザクラ

菅平の研修林で林一六先生にミネザクラの事を教わり、無性に山で見たくて黒姫山に登った。

山頂近くで初めて見る事が出来た。それは見事に咲いた姿でした。私は少しあわててしまいました。花は白く、小さく少しだけ開き、青空によく似合いきれいでした。このミネザクラは私にとって宝のようなものでした。

咲いている崖の下を見ると石ころがゴロゴロしていて、すごく怖かった。空にはタカが円を描いていて、すごい風景だなと思いつつ下山した。

ノカンゾウとお月様

ノカンゾウの花があまりにきれいだった。この福島部落は急な坂の中にあり、石積みの田んぼの土手に花が一本咲いていた。地元ではアマナと呼んで親しまれているその花は、天に向かって咲いている。この花の愛らしさに心から惚れていた。午後遅い時間だが、空は青空できれいだった。周りの山々は美しく見えていた。すぐ近くの山にまんまるお月様がまだ明るいのによ〜く見えた。

土手には菫が多く育っていた。この辺りの畑には、背が高く茂った葉ばかりの福寿草が多くあった。今はお月様は川に映っていて、その姿が美しく私の心を和ませてくれた。

川の流れに咲くシラヒゲソウ

この花を見たのは天竜スキー場へ行く道の近くの滝だった。何だろうと思い近づいていくとシラヒゲソウでした。私はすごく驚きました。また少し進むと、道路のすぐ横にも咲いていて驚き、花の美しさに心が洗われました。シラヒゲソウの花の素晴らしさは私の心に潤いをくれました。私はこの道を潤いの通りと名付けました。

この道は砂利道で雨が降ると道の真ん中に水が流れるのか堀があり。車はその堀をよけて進むのに苦労しました。また、時に動物が飛び出してびっくりしたが、自然があり嬉しさもありました。

ヌスビトハギ

北竜湖の周りを歩いていると足元にヌスビトハギが咲いている。夏の日雑草の中にあつた。そんな草でも私の足に付いていて嬉しかった。半楕円形の実が面白い。背丈は 60cm くらいだった。池の周りの松の木の下に色々な草と一緒に育っている。私にはそんなこの草がうらやましかった。

今日内科に行くと、先生が「これから 2 ヶ月に 1 回でいいよ」と言うので嬉しかった。「今度会うのは 2 ヶ月後で寂しいね。今度、花の写真を持ってきてね。」と言う、そんな先生が私は好きだった。今度、花の写真を届けたい。

飯山のヤマユリ

今年の里山にはヤマユリが多く咲いていた。山すその墓地にも咲いていた。山の中にはムラサキシキブやエビネが少し咲いていて、私を喜ばせてくれた。そんな山が美しく見え、林の中のユリが頭の中より消えなかった。

エビネは茶色の花だった。でも、ヤマユリのあの色に恋を感じ、夏を感じ、喜びを感じ、私なりに嬉しさを感じて生きているのが、今の私です。

標高 800 m に咲く紫陽花

山奥の杉やブナ、コナラの木で育つ場所で出会った。それはきれいな花だった。少しの間見とれている私だった。夕べの雨がまだ葉に残っている。虫が食べた跡なのか、葉の真ん中に穴が開いていた。私にはそれが楽しかった。でも、美しい花なのだ。

今日は晴れていて、この山にいる犬鷲も日本海へ

飛んでいく姿がすぎの林から見えていた。

人間の趣味と楽しみ

私が天然の花や植物に一生懸命になったのは、鍋倉の山の中でシラネアオイの群生に出会ったのが初めてでした。急斜面に何気なく咲いている花に癒しを感じ、周りの雑木林や近くの川をすばらしく思った。川の石にネズミがいた。近くにはウサギの糞がコロコロところがっていた。美しい天然の清水を露の葉でつつみ飲む私だった。人間も野生の本能で生きている、そう思った。

人は本能で生きているのです。本能には、性欲や物欲や名誉欲がありますね。でも、私は家もあり、妻もあり、病身でも山へ遊びに行け、多くの友に癒しをもらい、自分は幸せだと思います。

一番うれしい事は、県の植物研究会の先生方に学習させていただき、自分を磨くことが出来るのがうれしいのです。この頃は、同級生の女性の集団が来てくれて、楽しい話をたくさん出来、人生が楽しくなりました。また、遠くの大学から来てくれた人もいました。花を通して知らない人と友になりました。お世話になっている病院の先生方は花の事や植物の事を私に聞いてきて、私の返事を待っていてくれるのが一番の癒しになっています。

また、この頃気づいた事は、人間は評論家ではだめだと言う事です。介護士やリハビリ師に教わる事もある。室内を飾る草花も一つの学習だった。花瓶に入れて飾った野草も勉強の一つであった。オドリコソウはどうして水で長く生きるのと研究する、それが癒しであった。